

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	トゥルース	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.480	△RG	0.055	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：トゥルース

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

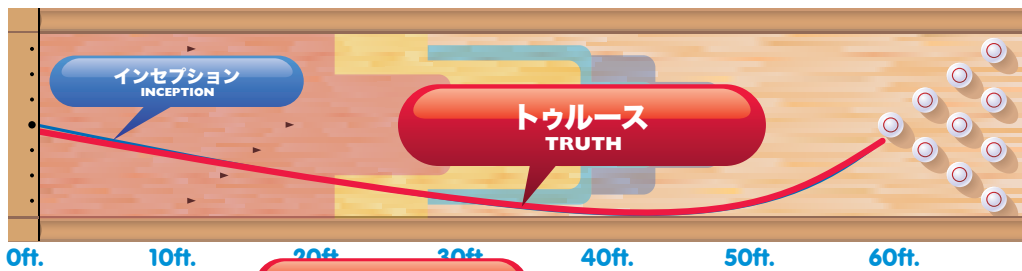
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

比較対照ボール：インセプション

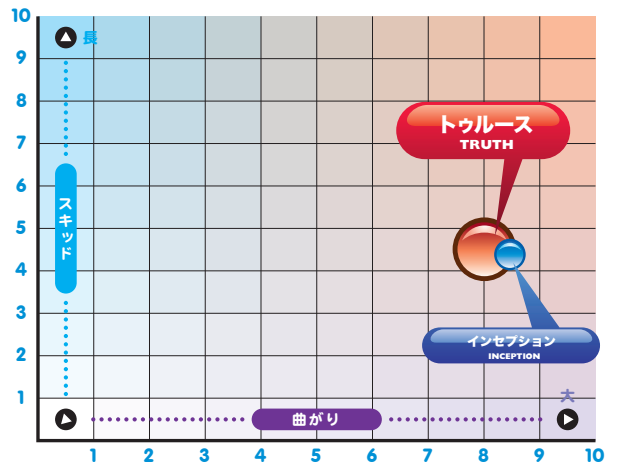
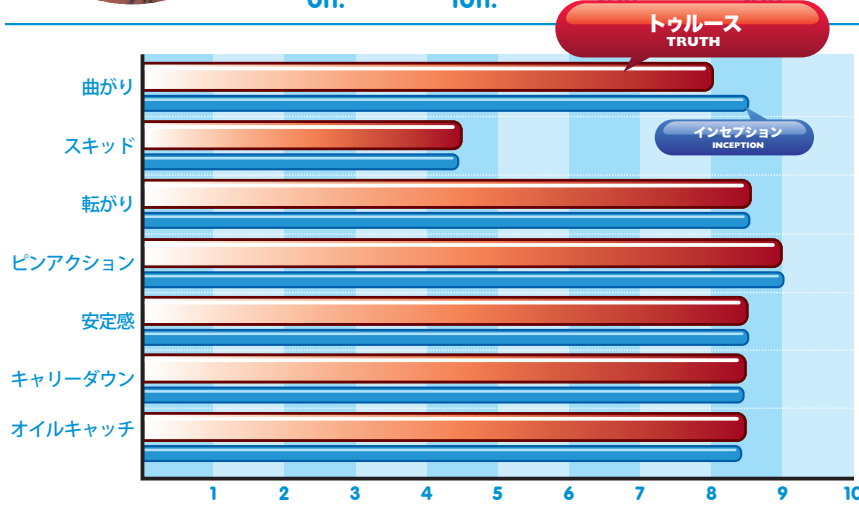
フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

先月発売されたINCEPTIONはTour Engineered SeriesでS74R Solid CoverstockとAdaptor/D Asymmetric Coreでした。このTRUTHはPrime SeriesでS74R Solid CoverstockとAdaptor/C Symmetric Coreです。INCEPTIONとの違いはカラーリングはもちろんのこと、AsymmetricとSymmetricの差があります。理由はINCEPTIONはMid Laneでの曲がるイメージ(Ball motion)に変化を加え、TRUTHはHookの後期からRoll期で一気にエネルギーを鋭角なReactionに変換するイメージで作られています。INCEPTIONもTRUTHも双方に共通しているのは、「900Global社で1・2を争うBackendが鋭角」という部分です。Adaptor CoreのMotion Potentialが独特なネジレ感をだしており、こういう性能のCoreであるならばこの先HybridやPearl素材の組み合わせのボールができて、どのようなポテンシャルになるのか楽しみでもあります。TRUTHとINCEPTIONを比較投球すると、Asymmetric CoreのINCEPTIONの方がやや早めにHookに移行するイメージは感じ取れます。TRUTHはその反面、HookからRollの移行のが素早く、急激に向きを変えて曲がるイメージができています。投球して感じたことですが、やや硬めのピンアクションの割にはかなりストライクの確率が高かったです。その理由はポケットの傍で急激に向きを変えるので、曲がってからのエネルギーロスがほかのボールよりも少ないのでしょう。それが活かされていて、かなり重厚な特に薄めの絡むアクションに強さを感じます。Prime Seriesですがオイルが多いコンディションでも使えるほどの性能を持っており、Symmetric(対称)Coreならではのシンプルなレイアウトでも十分PerformanceがでるところにこのTRUTHの利点があります。積極的に使っていただき、積極的にラインを攻めてください。

特記事項

新開発のS74 Solid CoverstockとAdapter/C Symmetric CoreでAggressiveにラインを攻めることのできるボールです。MediumからMedium Heavyなコンディションで攻めのボウリングをしたいのならば、持つべきボールはTRUTHです。